

こどもひろば

2021.2 (第305号)

よんでみて！あたらしくはいった本

『うりぼうと母さん』

矢野 誠人 / 写真・文, 林 良博 / 監修 大空出版 (J/Y294)



幼児 ★★★

■イノシシの赤ちゃんは、からだのもようが野菜のウリに似ているので、“うりぼう”とよばれています。六甲山でお母さんや兄弟たちといっしょに暮らすうりぼうの1日をていねいに紹介してくれる写真絵本です。



『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』

キース・ネグレー / 作, 石井 睦美 / 訳 光村教育図書 (J/N336)



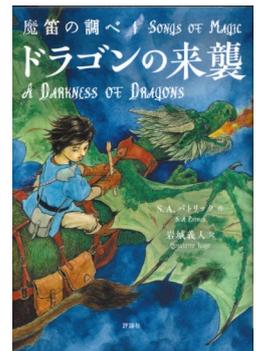
小学生 ★

■今では、信じられないかもしれないけれど、ちょっとむかしは、女の子はズボンをはいちゃいけなかったんだよ。女の子がきることができたのは、きゆうくつなドレスだけ。でも、そんなことはおかしいとおもったメアリーという女の子は、ズボンをはいて町へでかけた。町みんなは、おおさわぎしてメアリーをひなんした。



『魔笛の調べ 1 ドラゴンの来襲』

S. A. パトリック / 著, 岩城 義人 / 訳 評論社 (930/P53/1-1)



小学生 ★★★

■笛ふきたちが曲を奏で、平和を守っている世界の物語。演奏を禁じられた曲「舞踏」を演奏した13歳の少年パッチは、城の奥に投獄されてしまう。その城に子どもを奪われたドラゴンの群れが襲いかかり、パッチは命からがら逃げ出す。

★がおおいほど本のないようがむずかしくなるよ。

おはなし会のよてい

新型しんがたコロナウイルス感染症対策かんせんしょうたいさくを実施しておはなし会かいさいを開催します。

- ・おはなし会のはじまる10分さんかひょうくらい前から、「参加票」をかいてもらいます。
- ・6組さんかほど参加せんちやくじゆんできます。(先着順)
- ・となりの人と、はなれてすわりましょう。
- ・2さいいじょう以上の人は、マスクをおねがいします。



2月のおはなし会

ひづけ	じかん	おはなしかい
2/2(火)	11:00~11:20	こうさぎおはなし会

こうさぎおはなし会

2月2日
(毎月だい1またはだい2火よう日)
11:00~11:30

わらべうた、えほんのよみきかせなどを
します。赤ちゃんから5才くらいまでの
子どもと、保護者ほごしゃのためのおはなし会です。

出演しゅつえん：おはなし紡ぎの会つむ

3月のよてい 3月2日(火)

「わくわくかみしばい会」

2月27日(毎月だい4土よう日)に
よてい
予定していた「わくわくかみしばい会」は、
ちゅうし
中止となりました。



よてい
4月まで、おはなし会をお休みする予定です。

出演しゅつえん：まいまい塾じゆく ネットワーキング



だれでも無料むりょうで、
じゆうにさんか
できます。きてね!

としょかん

図書館にきてくれるみなさんへ

けんりつ としょかん

県立図書館のあいている日と時間

火曜日～金曜日 ごぜん9時から ごご7時まで

土・日・祝日 しゆくじつ ごぜん9時から ごご5時まで

毎しゅう月よう日が、お休みです。

- 2月11日（木・けんこくきねんび建国記念日）、2月23日（火・てんのうたんじょうび天皇誕生日）は、ごぜん9時からごご5時まで あいています。



今月の本「どっちがすき？ネコとイヌの本」



2月22日は「猫の日」です。2（にゃん）、22（にゃんにゃん）のごろあわせですね。みなさんはネコは好きですか？それともイヌが好きですか？

今月は、ネコやイヌについて分かる本、ネコやイヌが出てくるおはなしの本をしょうかいします。

- 『くらべてわかる！イヌとネコ』

はまだ しゃしん おおのみずえ ちよ はやしよしひろ かんしゅう

浜田一男／写真，大野瑞絵／著，林良博／監修

いわさきしよてん

岩崎書店（640／04／2）

- 『ネコのタクシー』 なんぶかずや 南部和也／さく，ふくいんかんしよてん さとうあや／え 福音館書店（913／N138）

- 『あしなが』 あきやまただし あきやまただし／作・絵 こうだんしゃ 講談社（J／A127／21）

じどうしりょう

児童資料コーナー入り口近くの本だなにしています。

どの本も、かりることができます。

ぜひ読んでみてください。



* 3ページまでは、小学3年生から習う漢字にルビ（ふりがな）をつけています。

* 「こどものひろば」は、県立図書館のホームページでも見ることができます。

URL : <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>

子どもと本を楽しむ大人のみなさんへ

●ミニ展示「ありがとう 安野光雅さん」●

『旅の絵本』シリーズや『ふしぎなえ』『ABCの本』など、楽しくて不思議な絵本を描いた安野光雅さんが、12月にお亡くなりになりました。

安野さんのいろいろな本を紹介するミニ展示を開催しています。

貸出できますので、どうぞご利用ください。

(一般資料 閲覧室でも、安野光雅さんの追悼コーナーを作っています。)

期間 2月7日(日)まで



●紙芝居やパネルシアター等の利用について●

県立図書館では、図書だけでなく、紙芝居やパネルシアター、エプロンシアターの貸出を行っています。所蔵資料の一覧は、図書館ホームページ内「子どもの読書応援ページ」の「ブックリスト」でご覧いただけます。おはなし会などでぜひご利用ください。

利用にあたっては、次の方が気持ちよく利用できるよう、ご協力をお願いいたします。

- ・紙芝居は、順に並べてケースに入れてください。
- ・必ずピンクのビニールケースに入れて返却してください。
- ・破損したり、パーツを紛失した場合は必ず返却時にお申し出ください。

(弁償していただく場合があります。)



今月のコラム「読み聞かせの時間」

毎晩、本を読んでと言っていた息子(6歳)が、とうとう自分で読み始めました。『ボンヤリどうぶつえん』(長新太/さく 理論社)を読みあげて私に聞かせながら、一人で笑っています。上の子は年長さんの時に「自分で読むから」と聞いてくれなくなったので心づもりはしていたのですが、この時がきたかーという感じです。

赤ちゃんのときは、『ごぶごぶごぼごぼ』(福音館書店)を「ごぶごぶ」と読んでただけで笑い、3歳頃には『ねずみのいえさがし』(福音館書店)の繰り返しのところ、4歳頃には「へんてこらいおん」シリーズ(小学館)でゲラゲラ笑っていました。幼い子がどんなふうにも本を楽しむのか、息子にたくさん教えてもらいました。読むのがしんどい時もあったけれど、続けてきてよかったです。

1年生の今、まだ絵本も幼年文学も楽しめるいい時期です。残り少ない読み聞かせの時間を、大切に味わいたいと思います。(H)